

寫

經理部

水野副官

水路部

軍務局

0572

通二普通合第一五二八號

大正十五年六月二十四日

第一課
第二課

海軍次官 大角 岑 生 殿

外務次官 出 淵 勝

西國夏季標準時制定ニ關スル件

本件ニ關シ今般在西太田公使ヨリ別紙寫ノ通報告アリタルニ付右茲ニ送付ス

中村

廣田

日 野 田

別紙添付(已號用紙) 圖納

軍令部 陸軍部 陸軍省

六月廿五日 官房受

水路部 15.7.1 受接

15.7.2 三令軍

15.6.28 月 日

外務省

公第九二號 大正十五年五月十三日

在西特命全權公使太田爲吉

外務大臣男爵幣原喜重郎殿

西國夏季標準時制定報告ノ件

當國ニ於テハ夏季晝間長キ時ニ於テ燃料及電力ノ經濟並ニ國際的事
 項ノ連絡及其調節ノ爲一九一八年一九一九年一九二四年ノ三回ニ涉
 リ夏季標準時ニ關スル件ヲ制定シテ之ヲ實施シタルコトアリシカ今
 年以降ハ右制定ヲ毎年實施スルコトニ決シ四月九日附ヲ以テ左記ノ
 勅令ヲ公布シタリ

第一條

夏季標準時施行ヲ開始スヘキ四月ノ日時並ニ平時標準時ニ復歸スヘ

結習形係
十月二十三日
ハルセロナ

6490

2

キ十月ノ日時ハ毎年開議ノ決定ニヨリ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第二條

本年四月十七日二十三時ヨリハ平時標準時ヲ六十分進マシメタルモ
ノヲ夏季標準時トナス

第三條

來ル十月二日二十四時ヲ以テ平時標準時ニ復歸スルモノトス(以下略)
右報告申進ス

(已號用紙) 願納

外務省